

教育目標

その子らしさを大切に たくましく生きる力の基礎を培う

年度末の最終評価

自己評価

教育目標の達成状況、次年度に向けた見直し

1人1人の良さを教職員や友達が認め、そして自ら自分を誇れる子どもになってきたように思う。また、友達関係も広がり、友達と一緒に乗り越えられる姿もみられるようになり、楽しんで幼稚園生活を送る中で、たくましくなってきた。今後も一人一人の違いを個性と捉え、子どもたちが自信をもって遊んだり生活したりできるように取り組んでいきたい。

学校関係者評価

学校関係者による意見・支援策

アンケート結果を見る限り、おおむね良好であり、また、園内展を見て感じたことは、年齢に合ったのびのびと子どもらしい絵であり大人が教えている絵ではなく、子どもの思いを大切に取り組んでいるのであらうと思った。園のおかげで自己有用感をもち、喜んでなんでもできる人間になれるようになってきたと思った。これから生きるために、学んだことだけでなく、知恵をどう使うかということ学ぶようになってほしい。次年度もまずは、楽しんで親子が通える幼稚園であってほしい。そのために学校運営協議会も協力をしていく。西院幼稚園らしく、のびのびとあってほしいと願う。

学校関係者評価の評価日・評価者

	評価日	評価者
中間評価	令和2年11月18日	学校運営協議会
最終評価	令和3年3月12日	学校運営協議会

（1）幼稚園教育（保育の改善・充実）について**具体的な取組**

- ・子どもの思いを丁寧に見取り、内面を理解してかわわり、教師との信頼関係を築く。
- ・多方面から子どもの姿を捉え、記録したり、日々子どもの姿を教職員間で話し合ったり、保育を振り返ったりして保育の充実を図る。
- ・自ら遊びたくなったり表現したくなったりする環境や自然に触れたりいろいろな体験を通して学べる内容を考える。
- ・子どもが安心して自分の素直な思いが出せたり、居心地がよいと感じられたりするクラスづくりを目指す。
- ・個々の実態や支援について、全教職員で共通理解を図ったり、個別の指導計画の作成や専門機関と連携したりして、個々に応じた支援を考える。

（取組結果を検証する）各種指標

- ・日々の保育や園内研究保育、記録やエピソードなどを通しての研究協議
- ・週案の反省、評価、改善
- ・保育環境の構成及び検証

・アンケート項目

「幼稚園に楽しんで通っている」「自分から遊びを見つけ、楽しんで遊んでいる」「友達と遊ぶことが好きである」「自分の思いや考えを言葉で伝えている」「絵本やお話が好きである」「動植物を大切にしている」

中間評価

各種指標結果

・週案及び日々の記録やエピソードなどを通して教職員同士の日々の振り返りの中から、幼児理解や今後の支援について考えてきた。また、園内研究やコンサルテーション研修などでいろいろな先生方からご指導をいただいた。今後も子どもの内面理解に努め子どもの発達や育ちを考えより子どもが楽しめる環境を整えていきたい。

・アンケート項目 回答者（保護者39名 教職員 10名 計49名）

A よくあてはまる B あてはまる AB 両方の%

「幼稚園に楽しんで通っている」(A37/49 B11/49 98%)

「自分から遊びを見つけ、楽しんで遊んでいる」(A27/49 B19/49 94%)

「友達と遊ぶことが好きである」(A35/49 B13/49 98%)

「自分の思いや考えを言葉で伝えている」(A21/49 B18/49 80%)

「絵本やお話が好きである」(A25/49 B21/49 94%)

「動植物を大切にしている」(A21/49 B21/49 86%)

自己評価

分析（成果と課題）

・毎日子どもの姿を教職員間で話し合い、振り返りや記録を取ることを丁寧に行ってきた。子どもたちの心の動きや些細な変化も気づき、一人一人の個性を大切にした援助を行い、子どもたちが楽しんで登園できる園を目指していきたい。また、研修等で多面的に子どもの姿を捉え、専門機関や講師の先生に指導していただいたことを実践に活かしていきたい。

分析を踏まえた取組の改善

・自分の思いや考えを言葉で伝えたり、思いを表現したり、挨拶をしたりするなど評価が低い結果になっているところは、今後、子どもたちが素直に思いを表現し、言葉で伝えることができるように、環境や保育の見直しを考え直しながら取組改善していきたい。

（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標

・アンケート項目「体を動かして遊ぶことが好きである」「先生や友達と挨拶をしている」の追加

学校関係者評価

学校関係者による意見・支援策

・幼児期の発達については個人差が大きいと思うので一人一人をよく見て対応していかないといけない。

・今年度はコロナ感染拡大の影響もあり、接することが求められる子どもとのかかわりや保育のあり方に影響があると思うが、コロナ禍のせいばかりにせず、改善策を講じていかないといけないことに先生方のご苦勞を察します。接触することが避けられる中、発信の工夫 例えば挨拶では気持ちを伝えあうジェスチャーやサインとする、園の様子を家であまり話さないのなら、親子で話すことが楽しめる仕掛けなどあればいいかもです。

・どんなことも子どもが自らしてみる、うまくできなくても時間がかかっても大人はその忍耐と見通しが必要です。子どもがその様子を伝えるのを温かく待ち、それでも現実はどうはいかない場合は、おもしろそうに心を傾けて聞くと話すようになり言葉も思いも膨らんでいきます。このム

	<p>ードは伝染するので西院幼稚園にその風土が根づくといいですね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者とのやりとりをしようと思えば、子どもをよく見てないと話せないし、子どもの姿に目を向け共に在る、そこからどの項目においてもそれがペースで一人一人に沿ったビジョンが生まれると思う。
--	--

最終評価

	<p>〔中間評価時に設定した〕各種指標結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の子どもの姿を教職員同士が話し合い、多様な面から幼児理解や今後の支援について考えてきた。また、子どもの内面理解に努め子どもの発達や育ちを考えより子どもが楽しめる環境を整えてきた。 ・アンケート項目 回答者（保護者40名 教職員 10名 計50名） <p>A よくあてはまる B あてはまる AB 両方の%</p> <p>「幼稚園に楽しんで通っている」(A41/50 B9/50 100%)</p> <p>「自分から遊びを見つけ、楽しんで遊んでいる」(A37/50 B11/22 96%)</p> <p>「友達と遊ぶことが好きである」(A40/50 B9/50 98%)</p> <p>「自分の思いや考えを言葉で伝えている」(A24/50 B18/50 84%)</p> <p>「絵本やお話が好きである」(A31/50 B17/50 96%)</p> <p>「動植物を大切にしている」(A31/50 B17/50 96%)</p>
自己評価	<p>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</p> <p>保育全般に関する重点目標では、子どもの思いを丁寧に見取り、まずは、教師と子ども、保護者と信頼関係が築けるように取り組み、1人1人が安心して幼稚園生活を送る中で、その子らしさを発揮できるようになってきた。健康・安全に関する教育の重点目標では、今年度はコロナ感染症対策ということもあり、手洗いうがい消毒やマスク着用など必要感をもって身につくことができた。また、小学校のグラウンドも使用でき、体を思い切り動かし遊ぶこともできた。人間関係に関する教育の重点目標では、学級に自分の居場所もち、安心して自分の思いをだせる学級を目指しほぼ達成することができた。環境に関する教育の重点目標では、園外へ出かけることは少なかったが、コロナ禍においても安全にできる内容を考え取り組んできた。言葉に関する重点目標では、少し自分の思いを話にくい子どももいるようだ。表現に関する重点目標では、いろいろなものに出会い触れる機会をもつことは少なかったが、それでも子どもたちは素直に自分らしく表現することを楽しんでた。道徳教育に関する重点目標では、友達と遊んだり生活をしたりする中で、していいことと悪いことを園生活の中で身に付け、また自分の思いと同様に相手の思いや気持ちを知らせ思いやりの気持ちを育んできた。LD等の支援の必要な子どもへの教育の重点目標では、個々の実態や支援について、全教職員で共通理解をして安心して過ごせる環境を構成し、療育機関と連携し、個々に応じた支援を考え実践してきた。今後も、教職員間の連携を十分にもち、子どもを中心とした保育を展開していきたい。</p> <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>子どもの行動や姿のみに捉われず、子ども内面理解を図り、子どもの心の奥にある思いを読み取るように努めていきたい。</p>

学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <p>コロナ禍ではあったが、できることを工夫して、保育に取り組んでもらえた。地域に立っていると、挨拶を親子ですてくれる。朝の光景がとても気持ちがいい。</p>
---------	--

（２）幼小連携・接続に関して

<p>具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開保育への参加を小学校や他の就学前施設に呼びかけたり、小学校の授業を参観したりして互いの保育や授業を参観し、研究協議等で子どもの姿を探ったりする。 ・幼小交流保育や話し合いを通して幼小連携の充実を図る。 	
<p>（取組結果を検証する）各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間交流保育の作成や研修会への参加 ・公開保育の参加人数 ・小学校の授業参観の参加回数 ・アンケート項目「幼稚園・小学校の連携ができている」 	

中間評価

<p>各種指標結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生と幼児の交流はコロナ禍のため実行できなかったが、教職員同士の研修は行うことができた。小学校主催の「人権研修」「エピペン研修」等に参加させていただいたり、「幼小接続に向けての研修」では合同で研修を行ったりしてきた。また、入学後や就学に向けて小学校と連絡を取り合い、子どもたちの滑らかな接続を考えている。 ・アンケート項目「幼稚園・小学校の連携ができている」（A28/49 B17/49 92%） 	
自己評価	<p>分析（成果と課題）</p> <p>コロナ禍により、交流はできなかったが、教職員の研修では意見交換ができたり、細やかな話し合いができたりしている。運動会では小学校の第2グラウンドを使用させていただくことができた。グラウンドで行われている小学生の授業を園から見ることもできた。また、校長先生教頭先生が運動会の様子を参観に来てくださったりした。</p> <p>今後、コロナ感染防止対策をしながら、出来る限り交流や連携を進めていきたい。</p>
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>子どもによる直接的な交流がなく保護者の方には小学校との連携ができいていないように感じられたのではないかと考えたので、交流以外のことも保護者に知らせていきたい。また、コロナ禍ではあるが、工夫しながら教員の保育参観や交流などを進めていきたい。</p>
	<p>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</p> <p>前期の指標に準ずる</p>
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年々実質的なパイプが太くなり、幼稚園と小学校の廊下がつながっているように感じる。保護者の方の回答が低いのであれば知らされていないアピールがしてないのではないか。広報をした方がいいのではないか。 ・客観的にみるとよくやっていると思う。それが伝わっていないのではないか。

最終評価

<p>〔中間評価時に設定した〕各種指標結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校と年長児がビデオを通して交流したり、給食を学校から運んでいただき年長児は給食を食べる経験ができた。コロナ過ではあったが、交流ができた。また、保育参観や園内展に小学校の先生方が参観に来ていただき、小学校の先生の目から見た幼児教や子どもの姿を教えてもらった。また、入学後や就学に向けて小学校と連絡を取り合い、子どもたちの滑らかな接続に向けて取り組んでいる。 ・アンケート項目「幼稚園・小学校の連携ができている」((A30/50 B15/50 90%) 	
自己評価	<p>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</p> <p>幼小連携・接続に関する重点目標では、直接子ども同士の交流をもつことはなかったが、園に隣接する西院小学校第2グラウンドにくる小学生の姿を見ることができ、小学生を意識している子どももいる。教職員間の研修を通して、幼児教育を話す中で私たちも深く幼児教育について考え、共通理解を図ることができた。</p>
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>小学校の参観ができなかったため、次年度は小学校の参観もし、小学校教育について学んでいく。また、幼小連携から幼小接続にさらに深くかかわっていくようにする。</p>
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <p>地域から見ると、小学校との連携はおおむねできていると思うが、保護者から、西院小学校とはできているが、自分が入学する小学校という意味ではできていないように思うのではないかと。西院小学校第2グラウンドを子どもたちが使っているため、活気が出てきた。また、明るくなって防犯上にもよい。地域の人も、グラウンドで遊んでいる園児の姿をよく見ておられる。</p>

（3）預かり保育に関して

<p>具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任、預かり保育担当者、保健職員の連携を密にして、子どもの心身の負担に配慮しながら保育を考えるようにする。健康管理、親子関係、人間関係などを共通理解し、同じ方針で取り組む。 ・家庭との緊密な連携を図り、情報交換しながら、家庭の負担も少なくし、子どもを共に育てるという思いで取り組む。
<p>〔取組結果を検証する〕各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育の記録内容 参加人数 ・指導計画の見直し ・アンケート項目「子どもは預かり保育に喜んで参加している」「預かり保育の様子がよくわかり安心できる」

中間評価

<p>各種指標結果</p> <p>異年齢のかかわりを大切にして預かり保育を行ってきた。また、一人一人が安心して参加できるように担任と預かり保育担当者が連携を取りながら、子どもの心や体調を考え参加できるように努めてきた。</p> <p>アンケート項目</p> <p>「子どもは預かり保育に喜んで参加している」((A27/49 B7/49 69% 回答なし 15)</p>
--

「預かり保育の様子がよくわかり安心できる」((A19/49 B9/4 57% 回答なし 15)	
自己評価	<p>分析（成果と課題）</p> <p>休園中及び幼稚園再開後もコロナ感染防止のため、保護者の方にはご協力いただき、ご家庭と一緒に過ごしていただいたこともあり、預かり保育の利用数はかなりの減員となった。2学期以降少しずつ利用が増えつつある。感染対策を十分に行い、たくさんの方にも利用しやすい環境を整えていきたい。</p>
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育の様子や内容について、降園時間にばらつきがありなかなか知らせる機会がなかったが、今後はHPや書面等で知らせて、安心して利用してもらえるように取り組みたい。 ・コロナ感染防止のため、外部講師によるイベント等は実施しなかった。しかし、多様な体験を味わうことも大事に考え、今後は、対策を十分に考え、出来る範囲で子どもたちに楽しめる機会がもてるようにしていきたい。 ・預かり保育を利用していただくことで、保護者の方の用事や就労支援だけでなく、保護者の方のリフレッシュや余暇にもつなげていきたい。
	<p>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</p> <p>前期の指標に準ずる</p>
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃のお便りみたいに預かり保育便りがあったりするとわかりやすいかも。 ・リズムランドなど、地域の方もやってあげたい気持ちもあるが、コロナ禍で、やはり難しいと思う。

最終評価

<p>（中間評価時に設定した）各種指標結果</p> <p>預かり保育の利用者は、かなり増えてきた。また、就労する保護者も増え、新2号認定者も増えている。異年齢のかかわりの中で年少児が年長児のする姿を見本にして行い、かかわる姿も多く見られるようになってきた。</p> <p>アンケート項目</p> <p>「子どもは預かり保育に喜んで参加している」((A39/50 B3/50 84% 回答なし 8)</p> <p>「預かり保育の様子がよくわかり安心できる」((A27/50 B11/50 76% 回答なし 8)</p>	
自己評価	<p>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</p> <p>預かり保育に関する重点目標である子どもも保護者も安心して過ごせる預かり保育になってきた。異年齢のかかわりをもつことができ、日々の遊びにおいても親しみをもってかかわれるようになってきた。年長児から教えてもらうことも嬉しいようで、素直に聞いている年少児の姿も見られるようになってきた。</p>
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>預かり保育の様子がわかりにくいというご意見をいただき、後期からは、学級の子どもの姿の他に預かり保育の姿も保護者に配布するように努めた。また、ホームページでも知らせるように努めていきたい。</p>

学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援</p> <p>今年度は、コロナ過のため、外部からの講師によるリズムランドなどは行うことができませんでした残念でした。</p> <p>次年度 どうなるかわからないが、協力はしていきたい。</p>
---------	--

（４）子育ての支援に関して

具体的な取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安全な遊びの場を提供し、保護者が相談しやすい雰囲気づくりに努め、子育てを楽しみ、子どもの成長を喜び合える保護者同士の場となるようにする。（教職員からの挨拶や声かけ） ・ほっこり子育て広場の開催 ・保護者の相談に丁寧に応じる。 	
（取組結果を検証する）各種指標	
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援教育相談の参加人数、相談件数 ・ほっこり子育て広場の参加人数 ・教職員の意識調査アンケート「未就園児の親子の顔と名前が一致している」「未就園児の親子に必ず挨拶をしている」 	

中間評価

各種指標結果	
<p>コロナ感染防止のため、1学期はなかなか開催できず、子育て支援教育相談の時間や回数を減らして行ってきた。未就園児クラス3歳児いちご組については、休園期間在園児と同じように家庭訪問を行い教材を届けた。再開後がいちご組の日数を減らしたり、保育時間を短くしたりして保護者の方には大変ご不便をおかけしてしたが、理解していただき、少しずつだが、感染防止対策を十分にした上で従来通りの保育に戻しつつある。未就園児クラス0～3歳児ひよこ組については、1学期は利用が少なかったが、幼稚園説明会以降少しずつ増加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほっこり子育て広場はコロナ感染防止のため中止している。 ・教職員はいちご組クラスの親子については全員把握しており、一人一人の子どもの姿等についても話し合い共通理解をしている。ひよこ組については、毎週参加してくださる方についてはだいたい把握しているが、利用が少ない方もいらっしゃるので全員把握までは至っていない。 	
自己評価	<p>分析（成果と課題）</p> <p>コロナ過で未就園児クラス再開をなり、濃厚接触を避けるために十分な会話をすることを控え特に乳児は口に遊具を入れてしまうことから遊具も減らし、密を避けるために園庭で遊ぶように促し十分な対応感染防止対策等を十分に行ない開催したが、保護者の方はよく理解してくださり感謝している。少しずつだが、いちご組ひよこ組とも登録者が増えてきている。今後、保護者同士のつながりが少しでももてるようにして、互いに子育て相談ができる環境づくりを整えていきたい。</p>
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>コロナ禍ではあるが、未就園児クラスの保育の充実を図り、コロナ感染防止対策を十分に行いながら、多くの方に幼稚園に来ていただき、安心して子育てができる環境を地域の方と共につくっていききたい。</p>

	<div>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</div> <div>前期の指標に準ずる</div>
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <div> <p>・この地域には、小さな子どもたちがまだまだたくさんいる。地域の未就園児の行く場所もコロナ禍で縮小されているので、西院幼稚園がやっていることはとても大きなことである。</p> </div>

最終評価

	<div>（中間評価時に設定した）各種指標結果</div> <div> <p>・3学期以降未就園児クラス0～3歳児ひよこ組については、どんどん増えてきているので、コロナ感染防止のため人数の制限を行い、いちご組に通っている3歳児の子どもは遠慮してもらってきた。現在、毎週12人～15人ぐらいの親子が参加している。</p> <p>・未就園児クラス3歳児いちご組の子どもは現在16名で、毎日元気に通い落ち着いて生活を楽しんでいる。在園児とのかかわりも増えてきた。</p> <p>・ほっこり子育て広場はコロナ感染防止のため中止した。</p> </div>
自己評価	<div>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</div> <div> <p>親子が安心して通える未就園児クラスを目指して取組んできたが、コロナ過であり、時間制限をしたり、遊具を少なくしたり、内容の充実を図ることができなかった。小規模保育園（つくし）の幼児を園に招いて園庭で遊ぶ予定をしていたが、コロナ感染者が出た場合のことを考え交流を控えた。未就園児クラスにおいて十分なことができなかったため、次年度に向けて、コロナ過でもできる内容を考えていきたい。</p> </div>
	<div>分析を踏まえた取組の改善</div> <div> <p>次年度コロナ感染対策が十分にとり、安全になれば、未就園児クラスの内容の充実を図ったり、小規模保育園との交流を行ったりしていきたい。</p> </div>
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <div> <p>安心して親子で通える場がないので、保護者の人は安心して通える場所を探している。幼児は急に何が起こるかわからないので、予約制や申込み制でなく、その日の体調で来やすいので敷居が低かったようで、西院幼稚園の教育相談には来やすかったようだ。</p> </div>

（5）地域とのかかわり（社会に開かれた教育課程）に関して

<div>具体的な取組</div> <div> <p>・月一回の公園清掃を通し、公共の施設を大切に使う意識をもつ。また、地域の方と掃除をする経験を通し、様々な人とのかかわりに気付いたり、自分が役に立っていることを感じたりできるようにする。</p> <p>・学校運営協議会の方による幼稚園教育の参画の充実を図る。</p> </div>
<div>（取組結果を検証する）各種指標</div> <div> <p>・公園清掃の回数や参加人数</p> <p>・子どもの姿の変容</p> <p>・学校運営協議会を中心とした地域の方との交流や環境を活かした保育ができたか。</p> </div>

中間評価

<div>各種指標結果</div> <p>コロナ禍のため、地域の方と合同の公園清掃はできなかったが、親子で月に一度公園清掃を行い、みんなの公園を大切にしようという意識をもつことができた。小学校の第2グラウンドを運動会で使用させていただいたことで、近隣の方に元気な子どもたちの声が聞こえ、子どもを身近に感じ、また見通しがよくなったことで防犯対策にもなっている。運動会当日は、グラウンドの周りから通りすがりに見ていかれる方もあった。</p> <p>学校運営協議会を紙面や人数を少なくしての開催となったり、行事の見直し等で来ていただくことができなかったりしたが、その中でできる限りのご意見をいただき、保育を考える機会をできた。</p>	
自己評価	<div>分析（成果と課題）</div> <p>学校運営協議会の方々には、入園式や90周年記念式典運動会などの行事にご臨席いただくことができなかったことがとても残念であった。今後もしばらくはこのような状態が続くことも考え学校運営協議会の持ち方を工夫し取り組んでいきたい。</p>
	<div>分析を踏まえた取組の改善</div> <p>コロナ感染防止対策を十分にした上で、少しでも学校運営協議会の方に幼稚園を知っていただけるような取り組みを考えていきたい。</p>
	<div>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</div> <p>前期の指標に準ずる</p> <p>アンケート項目「幼稚園だよりやホームページ、担任の話などから園の取組や大事にしていることや子どもの様子がよくわかる」の追加</p>
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果では、まず多くの子どもたちは、「幼稚園に楽しんで通っており」多くの親御さんから「子どもが安心して通える幼稚園である」と思っているこの2点が一番重要なことであり、いろいろな課題はあるが、概ね園の運営は順調だと思う。西院幼稚園の特徴である「子どもたちは笑顔でのびのびと、そして個性を大切に育てる」を大切にいただき、この時期だからこそいろいろな情報をより多く発信していただけたらよいと思う。 ・コロナ禍でみんな気をつけながらとても楽しそうに過ごしている。小さいのにきちんとマスクを着用し消毒を当たり前にして遊んでいることはすごいことだ。 ・園内の飾りつけや運動会の時にグラウンド周りに園児の絵が飾ってあり屋外絵画展のようだった。絵があるだけでワクワクし、これから運動会なんだという意識がもてた。

最終評価

<div>（中間評価時に設定した）各種指標結果</div> <p>コロナ過において、公園清掃を地域の方と一緒にすることはできなかったが、子どもたちは、月一回子ども・保護者で公園清掃を行い、地域の一員だということを感じながら公園清掃を行ってきた。学校運営協議会を行い、ご意見をいただきながら改善し見直す園経営を進めることはできなかったが、いつも温かく見守ってくださっていた。</p>	
自己評価	<div>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</div> <p>学校運営協議会の方による幼稚園教育の参画を図ることは、なかなか難しかったが、理事様による家庭教育講座を行うことができ、保護者共々学ぶことができた。次年度は、学校運営協議会の方による参画の充実を行っていきたい。</p>
	<div>分析を踏まえた取組の改善</div> <p>コロナ過ではあるが、安全対策を行いながら園にお越しいただく機会を増やし、園を知っていた</p>

	だき、参画の充実を図っていく。
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <p>幼稚園内に入ることはなくても、幼稚園を外から見て、きれいになってきていると思った。</p> <p>元PTAによる体験談を保護者の方に伝えることで、安心することがあるので、雑談のように普段何気なく話すことも大切である。</p>

（５）教職員の働き方改革について

重点目標	明るく元気に楽しい職場づくりを目指す。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間を意識し、仕事の効率化を図る。 ・働く方改革に関する研修を行う。 ・互いの良さを認め合い、声を掛け合い、協力して仕事を進める。
（取組結果を検証する）各種指標	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の勤務時間 ・年休取得率

中間評価

	<p>各種指標結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度初めコロナ禍での在宅勤務をしたり年次休暇を可能な限り取得したりしてきた。また、勤務時間と仕事内容の見直しを図り、時間外勤務を少なくしてきた。 ・教職員が安心し、意欲的に働き、充実した毎日を送れる職場環境を進めている
自己評価	<p>分析（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、保育や行事の見直しで今まで通りには行かないことも多かったが、みんなが助け合いながら園のために取り組むことができた。 ・保護者の方に協力いただき、年次休暇取得促進日も設けることができ、教職員の年次休暇が取りやすくなった。また、校務支援員の配属により、一人当たりの業務の軽減にもつながった。 <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>これからの時期、コロナ感染防止のため今後より一層の毎日の消毒や健康管理に十分に注意しながら、教職員が安心して働ける職場環境を目指す。また、業務の見直しや校務支援員と連携し勤務時間の削減につなげるだけでなく、教職員の余暇のあり方についても考えていきたい。</p> <p>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</p> <p>前期の指標に準ずる</p>
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <p>先生がいつも一所懸命にがんばっておられる。</p>

最終評価

<div>（中間評価時に設定した）各種指標結果</div> <p>校務支援員の配置により，１人１人の業務の軽減を行うことができた。</p> <p>また，教職員全員が，助け合い，協力しながら仕事をしている。どの教職員も，子どものことを第一に考え，子どものためならといろいろなことに取り組んでいる。</p>	
自己評価	<div>分析（成果と課題），重点目標の達成状況，次年度の課題</div> <p>まだまだ，勤務時間内に仕事を終えることができないことがある。次年度は，仕事の見直しを図り，計画性をもって業務にあたれるようにする。ノー残業デーを週１で設け，体を休め，心身ともに健康を維持して元気に働ける職場を目指す。</p>
	<div>分析を踏まえた取組の改善</div> <p>業務の分散を考え，１人当たりの仕事量を減らすようにする。</p>
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <p>先生たちが楽しく仲良く過ごしておられることを感じる。</p>